

子ども医療費助成の完全無償化を求める

高松 幸雄 議員



18歳までの完全無償化を実施したい
市長



▲蟹江町の巡回バス(日曜コース)

問 公明党あいさい、新生愛西クラブ、あいさいクラブの3会派は、11月22日に合同で「愛西市の子ども医療費助成の完全無償化を求める要望書」を提出した。市長は今後の方針についてどのように考えているか。

答 過去に平成30年、令和2年に拡大を行い、現在では、県内でも上位の助成内容となっている。過日の新聞報道では、弥富市、津島市でも同様の要望書

等が出され、また拡大をするという報道が出ていた。愛西市は、子育て世代の経済的負担軽減も含め、少子化対策の一つの施策として拡大の方向性も考えなければならぬと思っている。今後については、条例改正やシステム

の改修などの準備ができ次第、議会にも諮りたい。早い段階での18歳までの完全無償化を実施したい。

高齢者の移動手段を考える

問 高齢者福祉タクシーは、公共施設や医療機関への移動に利用できるが、公共施設とはどのようなことか。

答 公民館、図書館、体育館、防災コミュニティセンターや老人福祉センターなどがある。また、医療機関へ通院等するために鉄道を利用するときは、駅の利用もできる。

問 高齢者の移動手段について、市長の考えは。

答 時代のニーズとともに変化をしていくことが必要だ。市は様々な足の確保の事業を行っているので利用者や連携をしながら、よりよいものにしていきたい。

その他の質問

●子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨を

問 蟹江町では、巡回バスを観光目的で休日運行している。本市でも、道の駅を基点とした名鉄佐屋駅から船頭平閘門など、日曜日に観光の目的や買物を目的とした運行をすることを考える。

答 今後、道の駅のリニューアルに合わせ、関係課、また観光協会等と連携し検討する。